「全体的な利益は、GSE [政府支援機関]の政策変更により、高LTV [ローン・トゥ・バリュー]借り換えプログラムがさらに1か月引き戻されたにもかかわらずでした」とKan氏は述べています。「より多くの高LTV借り換えローンの廃止は、適合指数の3%の低下の大部分を引き起こしましたが、それは、適格で低所得のGSE借り手を支援するために貸し手が新しい借り換えローンプログラムを追加することによっていくらか相殺されました。

「一部の投資家がキャッシュアウト借り換えや投資家向けのジャンボARM [アジャスタブルレート住宅ローン]ローンへの関心を新たにしたため、ジャンボクレジットの利用可能性の回復は6月に急激に低下しました。」

従来のMCAIは0.8%増加しましたが、政府のMCAIは変更されていません。従来の住宅ローンの構成要素指数のうち、適合指数とジャンボローン指数はそれぞれ3.2%減少し、3.8%増加しました。

「景気回復が進んでいるにもかかわらず、全体的な信用供給は2014年以来の最低水準に近いままです」とKanは言いました。「一部の借り手は依然としてパンデミック関連の寛容状態にあり、サービサーはこれらの借り手のために可能な解決策に取り組み続けています。」

Source: Dodd Frank Update https://bit.ly/3k9XNm5

住宅ローンのクレジットの可用性が向上します

住宅ローン銀行協会（MBA）の住宅ローン信用可用性指数（MCAI）は、7月に0.3%上昇して119.1になり、貸付基準が緩和され、住宅ローン信用の可用性が向上したことを示しています。

MBAの経済産業予測担当副社長であるジョエル・カン氏は、この増加はジャンボローンプログラムの増加によるものだと述べた。

PROVIDENT TITLE COMPANY